

ISSN 0288-139X

水草研究会会報

60号(1997年3月)



Bulletin of Water Plant Society, Japan

No. 60 (Mar. 1997)

水草研究会

— 目 次 —

松井宏明・佐々木英代：十勝川水系におけるバイカモ（キンボウゲ科）移植の試み	1
山崎正夫・津久井公昭：東京都内における水生植物の分布と生育環境について	7
角野康郎：兵庫県産水草目録（新）	14
土屋 守：千葉県野田市に産するアカバナ属の一種について	21
西野 敦：吹田市におけるため池の水生植物の現況（1996）	25
西村由布子・田中 修：イボウキクサ（ <i>Lemna gibba</i> G3）の再分化（要旨）	28
白岩卓巳：逸出のオオサンショウモが姿を消した	29

〔 短 報 〕

滝田謙譲・角野康郎：北海道にもコカナダモ侵入	6
------------------------	---

その他

〔 表紙写真 〕 水田の冬景色（神戸市北区）

最近、基盤整備事業などで激減した湿田の重要性が水辺の生き物保全との関連でよく話題にされる。一般のマスメディアでは、棚田の記事がこのごろ増えたような気がする。昔ながらの水田環境の消失が、水田を生活場所としてきた生き物たちの消滅をもたらしている。自分たちの育った原風景が失われるという危機感も、なつかしい水田の光景への想いを強くしているのであろう。

レッドデータブックにはかなりの数の「水田雑草」が含まれる。水田の水草は、開発や水質汚濁によって消滅している水草とは異なり、人間の意図的防除によって絶滅の危機にさらされることになったわけだが、今や「雑草」の繁茂する水田は貴重な自然である。水辺環境の保全を考える者がもっとも目を向けなければならない環境のひとつが水田であるにちがいない。

（角 野 康 郎）